

リーディングDXスクール事業【実践事例】

松江市立義務教育学校玉湯学園

【取組内容①】 生活科や総合的な学習の時間を中心とした、ICT活用プロジェクトの全学年(1～9年生)での実施

「ICT活用プロジェクト」と題し、生活科や総合的な学習の時間を中心に、「気づく」「調べる」「考える」「まとめる」「伝える」といった探究的な学習の中で、ICT活用を進めていった。

ICT活用の推進には、「教える」から「自ら学ぶ」といった授業観・学習観の変革を伴っていく必要がある。その中核となる生活科や総合的な学習の時間の充実がICT活用の推進にも寄与すると考えた。

総合的な学習の時間におけるICT活用を計画するとともに、それに向けて他教科でもどのような活用ができるのかを教科横断的に計画し、「ICT活用プロジェクト」として全学年で実施した。

生活科や総合的な学習の時間は、学年部の教員で相談・連携して取り組むことが多いため、教員間のICT活用に係る知識・ノウハウ格差解消の一助にも寄与した。

ICT活用プロジェクト企画書 3年部

1. 重点教科：総合的な学習の時間

(1)単元名
再発見！玉湯のじまんを見つけよう！調べよう！伝えよう！

(2)ねらい
○地域で身近な人が活動する姿に関心をもち、やってみたいことを見つけられる。友達と協力して活動し、学んだことをつなげて考え、表現することができる。
○ICTの活用について自分が深く調べたいテーマについて、タブレットの学習支援ソフトを使ってまとめて発表する。

(3)単元計画

時期	学習の流れ
4月	・オリエンテーション
5月	・町探検南コース
6月	・町探検北コース
7月	・観光協会・まちデコ代表の角さんの講話
5～7月	・町探検や角さんのお話から発見した玉湯のじまん(すごいところ・すてきなところ)をカードや新聞にまとめ、互いに交流する。
9月	・観音寺、玉作資料館への見学や、まが玉づくりの体験などをしつつ、自分の課題を見つけ、調べ学習を始める。 ①思考ツールを使って課題を決める。 ②情報を集める(これまでの資料・インターネット・インタビュー) ③選んだ課題別にグループを作り、情報交換・相談をしながら進める ④情報を取捨選択しながら、プレゼンの計画を立てる ⑤まとめたことをシンプルプレゼンでまとめる。 ⑥学校・学年の中でプレゼン発表をして改善する。 見る側の視点(魅力をどう伝えるか・相手に分かりやすいか)
11月～1月	
2月	・シンプルプレゼンを使って、発表する。

2. ICTの活用計画 (各教科でこんなことをやってみようかな・・・)

教科	活用場面	(実施できたら)実施した月
国語	ローマ字入力・タイピング	7月～
算数	教員用タブレットで児童の考え(ノート等)を撮影して電子黒板で大きく映し出しながら説明する。	通年
社会	松江市の資料をみて気づいたことを発表ノートに書き込み、みんなで見合う。	7月
英語	デジタル教科書を使って学習を進める。	
理科	ホウゼンカの写真を取り、写真を入れて簡単な生長記録を作る。	
体育	表現・とびばこ・鉄棒の学習で自分の姿を動画撮影して確認する。	

「ICT活用プロジェクト」の授業は、校内のみならず、松江市教育委員会とも連携して記録を残し、市内の小・中・義務教育学校へ発信・情報共有。

